

第5回 全国原子力発電所立地議会サミット

報告書



期日：平成18年1月18日(水)～19日(木)

会場：神戸国際会議場(兵庫県)

全国原子力発電所立地市町村議会議長会

第5回全国原子力発電所立地議会サミット

《プログラム》

第1日目 1月18日(水)

午前

12:00～ 受付

13:00～13:20

開会式

開会

会長あいさつ

実行委員長あいさつ

来賓祝辞

全国原子力発電所所在市町村協議会

会長 敦賀市長 河瀬 一治 様

日程説明

閉会

13:30～15:15

基調講演

「原子力発電の今後」

東京工業大学教授 鳥井 弘之 様

中央大学教授 舘野 淳 様

15:30～17:30

分科会

第1分科会 「原子力発電の役割・住民合意」

第2分科会 「地域共生と地域振興」

第3分科会 「核燃料サイクル政策とプルサーマル」

第4分科会 「原子力施設の安全確保と防災対策」

17:30～18:30 移動

18:45～20:30

交流懇親パーティ

(新神戸オリエンタルホテル)

午

後

第2日目 1月19日(木)

9:30～11:00

全体会

分科会報告

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第4分科会

国からのコメント

11:15～12:00

閉会式

開会

大会宣言

来賓祝辞

経済産業大臣 二階 俊博 様

文部科学大臣 小坂 憲次 様

国会議員 様

兵庫県知事 井戸 敏三 様

神戸市議会議長 佐伯 育三 様

次期開催地代表あいさつ

閉会のあいさつ

午

前

開 会 式



開会のあいさつ



第5回全国原子力発電所立地議会サミット

副実行委員長

敦賀市議会議員 増田 一 司

寒さ厳しい折、全国各地から当サミットのため、このように多くの皆様にお集まりをいただき、まことにありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

また、昨年暮れから、北海道を初めとする日本海側は、経験のないような大雪となっております。被害に遭われた方々に、心からお見舞いを申し上げる次第でございます。

それでは、開会宣言を行います。ただいまより第5回全国原子力発電所立地議会サミットを開会いたします。



主催者あいさつ

ごちんもの会開



全国原子力発電所立地市町村議会議長会 会長

柏崎市議会議長 霜田 彰

本日とあすの両日にわたりまして、約440名という多数の原発を立地する議会議員の皆様、そして電力業者等関係者の皆様から御参加をいただき、第5回全国原子力発電所立地議会サミットが、この神戸国際会議場で開催される運びになりましたことに、心より感謝を申し上げる次第であります。

今回のサミットは、福井県下の敦賀市を初め四つの市町から、昨年度、本議長会に加わっていただきましたので、全国の原発立地市町村議会が初めて一堂に会した、極めて意義のある会だと思っております。

また、本日の開会式には、公務御多忙中の中を、原子力発電に関する諸問題について先頭に立って御尽力をいただいております、全国原子力発電所所在市町村協議会の会長であります河瀬敦賀市長から激励に御出席を賜りました。ありがとうございます。そして、本サミットに国の関係者の皆様からもオブザーバーとして出席をいただいておりますが、それぞれの分科会において貴重な御意見をいただけるものと思っております。

さて、昨年12月の半ばから記録的な豪雪が北陸各地、そして九州、四国までも襲い、全国でとうい命が失われております。また、日常生活にも多大な影響が出ております。大変、憂慮しているところでありますけれども、一昨年来、集中豪雨や猛暑、地震、台風の上陸などといった自然災害が多発しております、災害の脅威を改めて実感しているところであります。

原子力発電所においても、発生から10年が経過しました「もんじゅ」の事故以来、JCOの臨界事故や関西電力美浜原子力発電所3号機のタービン建屋での蒸気噴出事故といった大きな事故が発生しております。原子力発電所と日々生活をともにしている我々地域住民が安心して暮らせるために、原子力発電所の安全運転は絶対なものが求められると思っております。

また、最近の動きとして、原発開発促進対策特別会計を統合し、一般会計からの繰り入れ方式に変更する動きもあることから、これらに対しても注意していかなければならないと思っております。

私たちは、これまでの4回のサミットにおきまして、幾つかの主張、提言を行ってまいりましたが、地域振興、原子力防災、規制体制のあり方、高経年化対策等々まだまだ非常に多くの問題を抱えております。さきに閣議決定された原子力改革大綱では、2030年以降も国内で発電する電力の30%から40%を原子力で担うことを目指すとしています。私たちは、このように国の基幹的な役割を担う原子力発電所を抱えている立地地域であります。私たち議会議員の声は、とりもなおさず住民の声であります。誇りを持って生活できる地域となるように、本日の会議を今後、国の政策展開に十分反映していただくべく、皆様とともに運動を展開していきたいと考えております。

す。本サミットにおいても、従来と同様にお互いに活発な意見交換、情報交換が行われますことをお願いいたします。

昨年度から今年度にかけて、全国各地で市町村の合併が進められております。合併により当議長会も、松江市という人口20万人の県庁所在地の都市から加わっていただきました。会員の皆様には、今後とも一層の連携と、当議長会の初期の目的であります、住民の安全の確保と福祉の向上のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げる次第であります。

最後に、今回のサミットに御参加いただきました皆様の一層の御活躍と、本サミットが実り多い大会でありますことを御祈念申し上げまして、主催者を代表してのごあいさつといたします。



実行委員長あいさつ



第5回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員長

御前崎市議会議員 柳澤重夫

十数年ぶりという大寒波の中で明けたこの平成18年の新春、皆様にも御健勝のうちにこの新年をお迎えになられたことと心よりお喜びを申し上げます。

また、昨日はこの地におきまして、阪神・淡路大震災が発生してから11年の歳月が流れました。犠牲となられました6,434名の皆様のみたま、安らかならんことをお祈り申し上げる次第でございます。

本日は、ここに第5回全国原子力発電所立地市町村議会サミットが開催されるに当たりまして、実行委員を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は原子力発電所立地市町村議会議員の皆様を初め、立地計画がなされております各地域の皆様や電気事業者の皆様、さらには全国各方面で原子力にかかわっておられる皆様、また、御来賓として全国原子力発電所立地所在市町村協議会会長の河瀬敦賀市長様にも御出席をいただき、盛大にこの原子力サミットが開催できますことを、衷心より厚く御礼申し上げる次第でございます。

皆様、御承知のように、この原子力発電所立地議会サミットは、原子力発電所や関連施設を立地する市町村議員が一堂に会し、地域住民の声として原子力発電にかかわる諸問題について、賛成、反対の立場を超え、大いなる議論をし、もって原子力発電所の安全と地域振興に資するものであると考えます。

日本経済も、やっとバブル崩壊後の不景気から脱却し、本格的な景気回復の兆しが見え始めた昨今ではありますが、高騰した原油価格は高どまりとなり、今後の経済に予断を許さない状況にあります。また、昨年2月に発効されました京都議定書により、二酸化炭素の排出量を大幅に削減しなくてはならず、産業界に与える影響も懸念されるところであります。

戦後60年が経過し、我が国は世界に類を見ないほどに、急速な経済成長を遂げてまいりました。経済最優先で歩み続けた今日、地球環境にも大きな負担をかけながらの経済成長であったと思います。振り返りますと昭和41年、我が国に商業用原子力発電所が運転されてから早40年の歳月が経過いたしました。現在、全国で54基が稼働しておりますが、地球温暖化等を考えるとき、私たち原子力発電所を立地する市町村議会は、クリーンエネルギーの供給基地として、二酸化炭素削減においては、そのパイオニアとして、今日まで大きな貢献をしてきたと思うところであります。

今回のサミットは「原子力発電の未来～その安全と安心を求めて～」をメインテーマとして、未来へつなげるエネルギーの安定供給と地球環境の保全についても、大いなる議論を展開していただき、子々孫々に明るい未来を約束するためのサミットになれば幸いです。

原子力発電所を取り巻く状況は、多くの問題を抱え、事故、トラブル、人為ミス、引き続き地

域住民にとりましては国や事業者に対する不信感が払拭されない状況にあります。

しかしながら、エネルギーの安定供給と地球環境の保全是両立して確保していかなくてはなりません。国においては原子力発電の安全に係る基本技術はもとより、運転技術、点検技術を確立し、電気事業者の指導に当たるとともに、国みずからが、そこに、その責任を自覚して原子力行政に当たっていただきたいものであります。

今回のサミットは、このあと2人の講師による基調講演、四つの分科会を行い、あすには分科会報告とサミット宣言を予定しております。御参加されました議員の皆様には、それぞれ原子力政策に対する大いなる思いがあろうと思います。本日この機会に、明るい未来のための建設的で活発な議論を展開していただきたいと思っております。

また、夜には交流パーティーを予定しておりますが、和やかな、かつ有意義な意見交換会となることを期待しております。

終わりに、実行委員会といたしまして、精いっぱい準備をしたつもりではございますが、不行き届きの点は多々あろうかと思っております。何とぞ御容赦をいただきたいと思っております。

この2日間にわたるサミットが、将来の日本のエネルギー確保にとりまして実り多いサミットとなりますことを御期待申し上げ、ごあいさつといたします。



来賓あいさつ



全国原子力発電所所在市町村協議会 会長

敦賀市長 河瀬 一治

今日は第5回の原子力立地議長会のサミットということでございまして、全国各地から、日ごろ原子力の立地地域が持ちます特有の課題、問題の解決を目指して、また地域住民の福祉向上に、大変お力を賜っております議会の先生方の集まりでございます。まずもって心から、このように盛大に開催をいただいておりますことを、お祝いを申し上げるところでございますし、また私も全原協とともに力を合わせながら、この諸問題の解決に向かって今後ともお力をいただきたい、このように思っておりますのでございます。

ところで、私も原子力立地地域、いろいろと諸問題ございましたが、決して順風満帆とは言えない状況であったわけでございます。今、我が国の基幹電源と原子力発電所が位置づけられるまでに至りました。

このことは、国を初め技術者方々の御努力によるものではございますけれども、何と申しましても、立地地域住民の理解と、そして議会の皆様方の多大なお力によるものでございます。この点、原子力政策大綱でも「立地あつての原子力政策」と明記されたところでございまして、立地市町村としては意を強くいたしまして、また、この大綱を閣議決定されました国の姿勢を評価したところでございます。

しかしながら、全原協を挙げまして運動をやってまいりました。その結果、創出をされました電源特会、これが一般財源化をされようとしておりますし、またトップランナー方式、また道県のみを対象といたしました新交付金制度の創設、さらには固定資産に係る償却残存率の撤廃を経済産業省が概算要求するなど大綱の趣旨が生かされているとは言えず、現実、厳しい中で、国の原子力政策の最前線で頑張っております市町村として、国の姿勢に疑問を感じているところでもございます。

また、高経年化対策、安全規制の強化を行っておりますけれども、一方で定期検査の短縮、長期サイクル運転、出力増強、60年間の長期運転など、いわゆる既設炉の活用方策の推進は、市町村にとりまして大きな問題であります。国は、原子力政策の現場の状況を十分に御認識をいただくことが肝要であると考えております。

今、原子力は大きなうねりの中にあります。全原協は昭和43年の創設以来、原子力との共存共栄を目指しまして安全規制、地域振興等々、立地地域のさまざまな問題の解決のため活動を続けてまいりました。今後とも、国、事業者に対しまして真摯な対応を要請してまいり所存であります。議員の皆様と私も行政は、それぞれの立場から地域の発展という同じ目標を目指しております。まさに車の両輪として、お互いが切磋琢磨し、地元のために、たゆまぬ努力を続けていくことが必要であると考えております。そういう意味で、多くの議員の皆様方が賛成、反対の棒を

超えて取り組み、議論する場としてこのサミットが盛大に開催されておりますことは、まことに大きな意義を持つものであります。

本年も「原子力発電の未来～その安全と安心を求めて～」をテーマに、さまざまなプロジェクトが組み立てられています。このサミットが活発な御意見、御議論のもと、実り多い大会となることを、確信をいたしておるところであります。

最後に、本会のますますの御繁栄と、本日御参会の皆様方の御健勝、御多幸を御祈念申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。本当に本日はおめでとうございます。

祝 電

神戸市市議会

議長 佐 伯 育 三

第5回全国原子力発電所立地議会サミットの開催を心よりお祝い申し上げます。また、当地神戸での開催に対しまして深く感謝申し上げます。実り多きサミットとなりますよう祈念いたしますとともに、御参集の皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈りいたします。



このころ、おとこすまははてはを御開に大親水い、ミサのこすじと取るす論議、ふ勝り別アス勝
 すまはあひのさで自ら強敵さき大
 やくいひひまをまろ、コマーキき「一ひ夜米き手受ら全安のチー米米の漢流け下則」と平本
 るこるまと全大のひり実、まよの論議間、見事勝るが御水い、ミサのこ、すまははてはを御開に
 すまはあひのさで自ら強敵さき大
 まれし中意講論をすを御、御開の御開の公家勝日本、と米漢流のすまをまの会本、この論
 すまはあひのさで自ら強敵さき大

章 第

会編中市可等

三 章 田 田 以 編

何州に、すま、すまはしし中、別はひま心さ御開のい、ミサ会編間を御開はひり御開全同に
 まよの論議間、すまをまのさで自ら強敵さき大、すまはしし中、御開の論議間、すまはあひのさ
 すまはあひのさで自ら強敵さき大

